

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：農地活用担当

内線：4120

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B7	農地中間管理機構運営事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業経営基盤強化対策費	
事業期間	平成26年度～平成35年度	根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律 農地集積・集約化対策事業実施要綱			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
						分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 農業経営の規模拡大、農地の集団化等により農地の利用の効率化と高度化及び農業の生産性向上を図ることを目的として、「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づき、(公社)埼玉県農林公社を農地中間管理機構に指定した。 この農地中間管理機構が円滑に事業を実施できるよう運営費を支援するとともに、基金の管理を行う。 (1) 農地中間管理機構運営事業 222,630千円 管理対象農地の減少及び委託料辞退に伴う減額 (2) 県推進事業 431千円 事務費の節減による減額 (3) 農業構造改革支援基金積立金 157,239千円 国庫補助金の配分額の皆減等による減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 農地中間管理機構運営事業 (ア) 運営費 205,480千円 ・事業推進費：農地中間管理機構事業を円滑に実施するための体制整備に要する経費 ・業務委託費：効率的に事業を実施するため、業務の一部を市町村等への委託に要する経費 (イ) 管理事業費 137,950千円 ・農地借入費：農地を借り受けるための賃借料等 ・農地管理費：借り受けた農地を担い手に貸し出すまでの間の管理に要する経費 イ 県推進事業 2,691千円 ウ 農業構造改革支援基金積立金 164,158千円 エ 支弁人件費 0千円 (2) 事業計画 ア 規模縮小や離農する農家から農地を借り受け、担い手にまとまりのある形で貸し付ける。 イ 借り受けた農地を担い手に貸し出すまでの間、適正に管理する。 ウ ほ場の大区画化など、必要に応じて基盤整備等の条件整備を行う。 エ 平成27年度農地集積面積：1,280ha、農地中間管理機構活用面積：800ha (3) 事業効果 平成26年度から平成35年度の10年間で農地中間管理機構等で17,802haの農地を集積することにより、効率的かつ安定的な農業経営を営む者が地域の相当部分の農業生産を担う構造を確立する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村、農業委員会、JA(農地利用集積円滑化団体)等と連携し、効率的・効果的な事業の推進を図る。 (5) 補正予算の概要 ア 農地中間管理機構運営事業 管理対象農地の減少及び委託料辞退による減額 222,630千円 イ 県推進事業 事務費の節減による減額 431千円 ウ 農業構造改革支援資金積立金 積立原資の国庫補助金の皆減及び運用益の減額 157,239千円						
2 事業主体及び負担区分 (1) (国定額) 事業者0 (県10/10) 事業者0 (2) (県10/10) (3) (国10/10・県0)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 農業経営振興費 (細節) 経営振興費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	財産収入	繰入金	諸収入				
決定額	380,300	235,604	638	102,768	1		41,289	129,979	
現計額	510,279	286,637	7,557	174,338	66		41,741		